亀山公園の伝説・文化・歴史

日田盆地の曙（日と鷹の神話）

日隈神社拝殿の額

古代、日田は大きな湖の底にあった。あるとき、大鷹が現れ、湖水に羽を浸して羽ばたき、天に昇っていった。すると湖水は鳴動し大波が起こり、西南の山が崩れ割け、湖水は西に向かって流れ出し、平地となった。平地には日隈・月隈・星隈の３つの丘が残された。

「豊西記」より

亀翁山 煩悩に泣く老亀（亀山公園の名の由来）

亀岩：亀山五石のひとつ

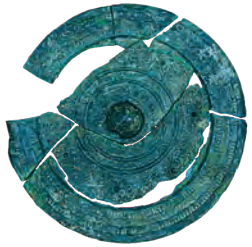
日隈山上の祠に、殆ど毎日参拝する老人に問いただすと、「下の深い河に住む老亀で、長寿を祈願している」とのこと。老人の後を追うと、亀岩（五石のひとつ）の上に衣があった。

日隈神社と三隈川をうたった句碑

近代の傑出した三人の俳人、岩崎魚将、井上柿巷、古賀晨生の句が記されている。

浮き沈む鵜に篝火のこぼれけり　魚将
狛犬の睨みあえると椎ふると　柿巷
村中や一つは簗の秋灯　晨生

神聖な祭祀の場所 日隈山



平縁細線式獣帯鏡
（大分県指定有形文化財）
日田祇園会館に展示

１８６４年、日隈山の老樹の根元から出土したといわれる。この鏡は中国後漢初期のもので、面径23.5㎝、６個の破片で保存されている。鈕の周囲に唐草文風の瑞雲文、その外の二重線内には右回りに銘文、さらにその外側に７個の乳と細線による獣形が鋳出されている。

日田市教育委員会 画像提供

日隈城・日隈神社

日隈城築城 宮木長次郎

日隈城大手門跡石碑

1593 年　日田地域は太閤蔵入地（豊臣秀吉直轄地）となる。
1594 年　豊臣秀吉の命を受けた宮木長次郎が代官として、日隈城を築き、支配する。（隈町の成立）このころ鵜飼が始まる。

日隈城整備 毛利高政

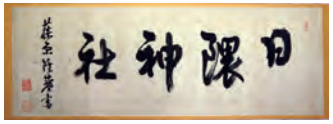
1596 年　毛利高政が二万石の大名として、五層の天守を設ける。
1601 年　関ヶ原の戦いで西軍に属した毛利高政は佐伯に移封、日隈城には東軍の黒田孝高が入城。

「毛利高政の木像」
養賢寺（佐伯市）所蔵　佐伯市歴史資料館 画像提供

日隈神社の新営

初代日田県知事（後の内閣総理大臣）松方正義が、「神仏分離の達し」に基づき、明治３年（1890年）５月、「日隈神社」と称し、新営した。春日大明神・後醍醐天皇・楠木正成の三柱をお祀りしている。

拝殿には、西郷隆盛書「日隈神社」、大久保利通書「龜翁山」の扁額があり、格天井の花々も見ごたえがある。



西郷 隆盛 扁額

大久保 利通 扁額

ようこそ日田の宝 亀山公園に
亀山公園 お散歩マップ
KIZANPARK WALKING MAP

川に浮かぶ 市街地の森

このパンフレットは右のQRコードからご覧になれます。
インスタグラムも覗いてみてください。
@KIZANKOUEN

この活動は日田市まちづくり活動推進事業補助金を活用しています。

制作：日ノ隈校区町おこし活性化連絡会（日伸会）

Walking Course Map

おすすめ２コース

周回平坦コース　約600m

亀山公園の周囲を巡る平坦なコースです。
川面を渡る風や亀山公園の大きさを体感できます。

日隈神社（日隈城跡）参詣コース　約450m

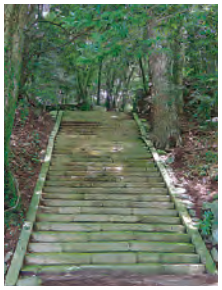
日田盆地を囲む四方の山々が眺められます。
桜、新緑、紅葉と四季の移ろいを感じられます。

日田市教育委員会　画像提供

01 亀山公園入り口

02 義民 穴井六郎右衛門碑

03 日隈城枡形虎口１



04 日隈神社

05 せせらぎ水路

06 句　碑

07 亀山五石

08 緑橋（太鼓橋）

亀山公園は、日田三丘陵（日隈山、月隈山、星隈山）の一つである日隈山を中心とし、市街地では高木から低木まで原生している珍しい自然豊かな公園です。歴史的にも古く、貴重な史跡なども残されています。

三隈堰と島内堰により、満々とした水に浮かぶ亀の甲羅を思わす緑豊かな公園からは、日田盆地を形成する四方の山々の美しいシルエットが眺められます。桜、新緑、紅葉と四季折々の移ろいは、訪れる人々の心を和ませてくれることでしょう。

また、一日のうちでも、朝もやの中に静かにたたずむ幻想的な景色、夕暮れ時に沈む夕日に染まる大空と、その変化を楽しむことができます。

ぜひ足をお運びいただき、水郷日田を代表する景勝の地で豊かな時間をお過ごしください。